

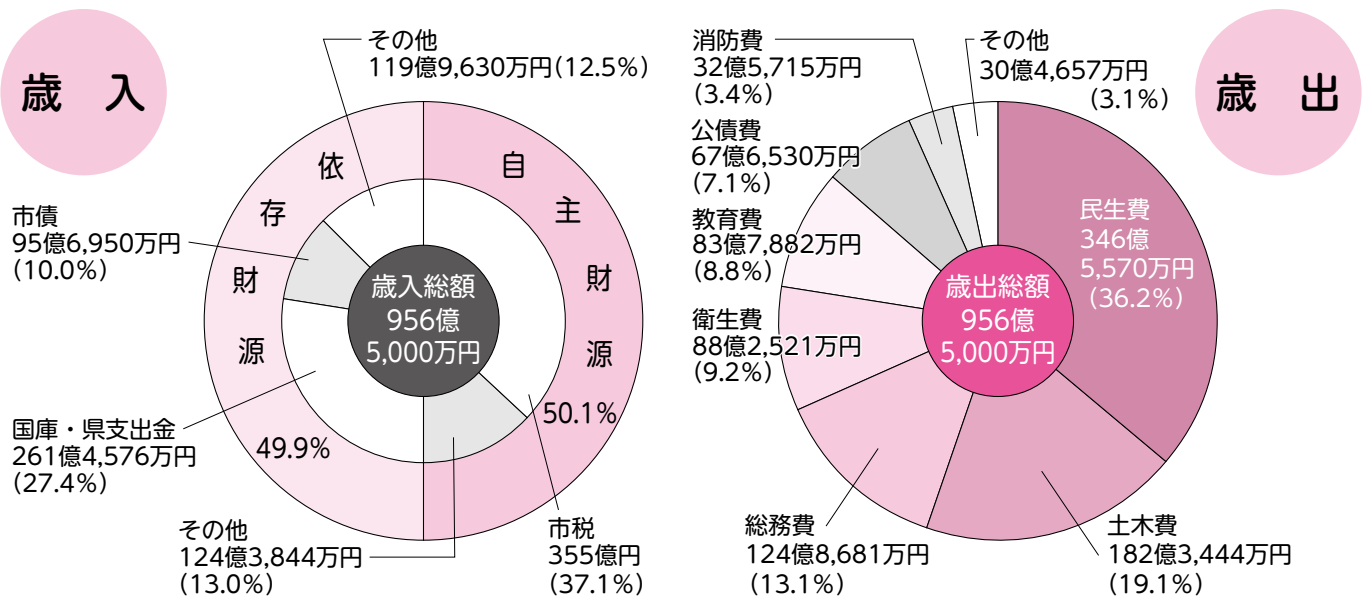
# 令和8年度予算を可決しました!

## 総額1,671億9,100万円

### 一般会計

一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

令和8年度予算額	令和7年度予算額	比較増減	増減率
956億5,000万円	956億円	5,000万円	0.1%



#### 一般会計予算決算委員会での主な質疑

**問** 令和8年度が初年度となる後期推進計画の主要事業は、本予算にどのように組み込まれているか。

**答** 後期推進計画では、若者・女性に選ばれるまちの観点を取り入れ、「定住人口の確保」、「交流人口の拡大」、「産業の振興」、「安全・安心の確保」の4つをまちづくりの方向性として掲げ、主要事業として70事業を位置づけ、重点的・横断的に推進していく。

「定住人口の確保」については、女性活躍・男女共同参画推進事業や子ども家庭センター運営事業など30事業に約128億1,000万円、「交流人口の拡大」については、ぬまづ暮らし住み替え促進事業や観光プロモーション事業な

ど13事業に約28億6,000万円、「産業の振興」については、企業立地促進事業や産業間連携による経営基盤強化事業など7事業に約6億8,000万円、「安全・安心の確保」については、総合的治水対策整備事業やゼロカーボンシティNUMAZU 2050推進事業など20事業に約81億円を計上している。

**問** 歳入について、個人市民税の増を想定する理由は。

**答** 給与所得控除の引上げに伴い、非課税者が増えることで納税義務者数を2,000人減と見込むが、賃金の上昇等により、個人の所得の増加が見込まれることから、個人市民税の増を想定している。

**問** 地区センター整備事業の内容は。

**答** 愛鷹地区センターにおいて建築主体工事や太陽光発電システムの設置等を行い、令和8年度中の供用開始を予定している。また、西浦地区センターにおいて移転改修工事等を実施し、令和9年度中の供用開始を予定している。

**問** まちなかにぎわい創出事業の内容は。

**答** 中心市街地の回遊性向上を図るため、本町商店街の老朽化したアーケードの撤去や街路灯のLED化など、買物環境の整備に対して補助金を交付する。また、あゆみ橋から御成橋までの狩野川左岸の活用に向け、河川敷を維持管

理するほか、河川敷でのイベント開催に対して補助金を交付することでのぎわい創出を図る。

**問** 学校給食の質に対する考えと給食費の公費負担の方針は。

**答** 長引く物価高騰の中で、子どもたちの成長に必要な学校給食の質を維持するために、給食費の単価を現行に対し、約5%増額する。給食費については、国の給食費負担軽減交付金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用することで、小学校では全額公費負担とし、中学校では保護者負担分を令和7年度と同額に据え置き、保護者の経済的負担の軽減を図る。